



石狩FAリサイクルプラント
当社初となる木質灰
リサイクルプラント

- 本社所在地：愛知県西尾市
- 事業概要：砕石業・建設業・木質灰の
リサイクル事業・飲食業・レジャー業
- 常時使用する従業員：78名
(グループ全体・2025年3月期)
- 現在の売上高：45億円
(グループ全体・2025年3月期)
- 法人番号：4180301022903
- Web：<https://daisen-g.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
大山 徳龍

多角化経営で日本初の木質灰のリサイクル事業の実現

ダイセングループは祖業である砕石業、建設業との相乗効果を意識し、自社特許技術を活用することで再生エネルギーとして全国各所で運転されている木質バイオマス発電所から排出される木質灰の完全リサイクル化を目指します。環境配慮型の多角化経営を強化することで、自社従業員のチャレンジ意識向上への寄与と地域産業（農業・自動車産業）の課題ニーズの解決を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2035年（当社50周年）のグループ売上高100億円達成に向け、計量分析会社の設立によるサービスのワンストップ化を通じて、国内初のリサイクル事業の拡販成長を目指す。
- ・自社内サービスに留まらず、プラント立案・運営ノウハウや販売網などを利用しライセンス方式での全国展開を目指す。

課題

- ・ワンストップサービスを完成させる計量分析のボトルネック工程の解決
- ・全国に立地する木質バイオマス発電所への認知度向上
- ・国家資格の環境計量士の採用育成
- ・マーケティング部署の強化（展示会、商談会、営業手法）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・設備投資による計量分析工程の内製化
- ・プラント建設のための設計の標準化
- ・全国営業展開のための協力会社の開拓、
もしくは自社営業所の立上げ
- ・官庁や行政サイドへの自社リサイクルシステムの評価獲得
- ・最終製品となう土壌改良材のマーケティング

実施体制

- ・計量分析担当部署の人員強化、採用活動の見直し含め
- ・建設設計部署のノウハウ取得のための外部研修の実施
- ・営業戦略構築のための外部専門家の活用
- ・地域金融機関、中小企業支援団体との連携強化

売上高100億円実現目標とグループ体制

- ・株式会社ダイセンは、昭和50年に大山土石として創業、平成3年に株式会社ダイセンへと法人化しました。創業時は砕石業として建設業向けに自社保有の山より岩石を採取、目的に合わせて破碎、選別し土木建設用骨材として販売していましたが、既存の砕石業とのシナジー効果を創出するため、当社の砕石を有効に使える建設業（土木工事とコンクリート工事）へと事業展開し、相乗効果で売り上げの安定化が図ること、また、砕石業・建設業で培った地域との関係性などを活かし、不動産取引、特に当地の地域産業である自動車関連の部品製造等の工場用地の手当から建設までと幅広く取り組んできました。
- ・さらに「地域に貢献できる」多角化経営への新規事業開発に取り組み、現在ではグループ企業において、飲食業やスポーツジム、人材派遣業など異業種への進出を進め、「ダイセングループ」を形成しました。
- ・SDGsに代表される環境問題が注目される外部環境のトレンドを取り込み、「未来投資本部」という部署を設け、アグリ事業、Ashクリエイイト事業、鉱山開発事業、不動産開発事業4つのプロジェクトを中心に、未来に何が起こるか分からない多様性のある次世代社会のための事業展開を進めています。
- ・株式会社ブレントラストは、産業廃棄物運搬収集事業及び各種薬剤等の商社事業を有しており、現在は西尾市内にある木質灰のリサイクルプラント工場を運営しています。
- ・ワールド・ワイド・ラボ株式会社は商社機能を有していますが、今回、新たな計量分析事業を進めるために県から認可を受ける計画を進めています。
- ・今回、ダイセンを代表者とする右記3社で木質灰のリサイクル事業をワンストップで提供できる体制強化、設備投資を実施し、10年後のダイセン50周年のタイミングで、グループ100億円売上高実現を目指します。

